

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1 改訂日: 2026/05/13 前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09

**1. 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : FULCAT-22 D  
製品コード : 000000000000136019  
用途 : 触媒

**供給者情報**

供給者の会社名称 : ビックケミー・ジャパン株式会社  
住所 : 東京都新宿区市谷本村町3-29  
電話番号 : +49 281 670-23532  
FAX番号 : +49 281 670-23533  
電子メールアドレス : GHS.BYK@altana.com  
緊急連絡電話番号 : East/South East Asia +65 3158 1074

**2. 危険有害性の要約****化学品の GHS 分類**

発がん性 : 区分 1A

**GHS ラベル要素**

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H350 発がんのおそれ。

注意書き :

**安全対策:**

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。  
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**応急措置:**

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。

**保管:**

P405 施錠して保管すること。

**廃棄:**

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09**GHS 分類に該当しない他の危険有害性**

重要な徴候及び想定される非 : 汚染表面は非常に滑りやすくなる。  
常事態の概要

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 化学物質  
化学名又は一般名 : 変性ベントナイト

**成分**

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)
ベントナイト	-	>= 90 - <= 100
石英 (結晶)	14808-60-7	>= 1 - < 10

**4. 応急措置**

- 一般的アドバイス : 危険域から避難させる。  
この安全データシートを担当医に見せる。  
被災者を一人にしない。
- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 石けんと水で洗い流す。  
刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。  
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。  
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 予防措置として、水で眼を洗浄する。  
コンタクトレンズをはずす。  
損傷していない眼を保護する。  
洗浄中は眼を大きく開ける。  
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口を水ですすぐ。  
この物質を多量に飲み込んだ場合、直ちに医師を呼ぶ。  
直ちに吐かせ、医師に連絡する。  
気道を確保する。  
ミルクやアルコール飲料を与えない。  
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。  
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知られていないか予想されない症状。  
眼と呼吸器官、皮膚に刺激性。  
発がんのおそれ。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1	改訂日: 2026/05/13	前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09
------------	--------------------	--

**5. 火災時の措置**

- 適切な消火剤 : 水噴霧  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。  
二酸化炭素 (CO2)  
粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
- 特有の危険有害性 : 製品自体は燃焼しない。  
材料は濡れるとすべり易くなる。
- 有害燃焼副産物 : 有害燃焼生成物は知られていない。
- 特有の消火方法 : 化学物質の火災に対する標準手順。  
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。  
粉じんの発生を避ける。  
粉じんを吸い込まないよう留意。
- 環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。  
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。  
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄する。  
除去の際には認可された工業用吸引機を使用する。  
高性能粒子除去空気フィルター (HEPA フィルター)  
クリーンアップ方法—大規模の流出  
水スプレージェットで、粉じんを除去する。  
シャベルを使って適切な容器に入れ、処分する。  
洗浄後は、水で痕跡を洗い流す。  
クリーンアップ方法—小規模の流出  
こぼれたものは、掃きとるか掃除機で吸い取り、適切な容器に移し、廃棄する。  
  
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

- 取扱い
- 火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。  
粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

## FULCAT-22 D

版番号 1.1      改訂日: 2026/05/13      前回改訂日: 2019/09/09  
 初回作成日: 2019/09/09

- 安全取扱注意事項** : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。  
 蒸気/粉じんを吸い込まない。  
 皮膚や眼への接触を避けること。  
 個人保護については項目 8 を参照する。  
 作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。  
 洗浄水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避** : 知見なし。
- 衛生対策** : 使用中は飲食しないこと。  
 使用中は禁煙。  
 休憩前や終業時には手を洗う。
- 保管**
- 安全な保管条件** : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。  
 ラベルの予防措置を遵守する。  
 電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
- 保管安定性に関する詳しい情報** : 乾燥した場所に保管する。  
 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
ベントナイト	-	OEL-M (吸入性粉じん)	0.5 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	2 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会 (許容濃度)
石英 (結晶)	14808-60-7	OEL-C (吸入性粉塵)	0.03 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である。この群に分類される物質は、疫学研究からの十分な証拠がある。			
		TWA (呼吸性画分)	0.025 mg/m <sup>3</sup> (シリカ)	ACGIH

- 設備対策** : 十分な換気を確保する。  
 空気濃度を職業暴露基準以下に保つ。  
 粉じんは、発生源から直接排出されなければならない。

#### 保護具

- 呼吸用保護具** : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルター

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09

## 手の保護具

の付いた呼吸装置を使用する。  
総粉じんの濃度が 10 mg/m<sup>3</sup> 以上の場所では防塵マスクが推奨される。

## 備考

: この製品を扱う前に、皮膚保護クリームを使う。  
適切な手袋を着用すること。

## 眼の保護具

: サイドシールド付き保護眼鏡もしくはゴーグルを着用する。  
作業環境もしくは作業中に埃の多い状態、ミスト、エアロゾルなどが発生する場合は、適切なゴーグルを着用する。

## 皮膚及び身体の保護具

純水入りの眼洗浄ボトル  
密着性の高い安全ゴーグル  
: 微粒子不浸透性保護服  
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態 : 粉末

色 : オフホワイト

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : 非該当

融点/凝固点 : 非該当

沸点/沸騰範囲 : 非該当

可燃性(固体、気体) : 燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

爆発範囲の上限/可燃上限値 : 非該当

爆発範囲の下限/可燃下限値 : 非該当

引火点 : 非該当

分解温度 : データなし

pH : 8.5  
(水懸濁液)

蒸発速度 : 非該当

かさ密度 : 850.00 kg/m<sup>3</sup>

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1	改訂日: 2026/05/13	前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09
------------	--------------------	--

自然発火温度	: 非該当
粘度	
粘度(粘性率)	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 不溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: 非該当
密度及び/又は相対密度 密度	: 2.60 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性 粒子サイズ	: データなし

**10. 安定性及び反応性**

反応性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
危険有害反応可能性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 粉じんは空气中で爆発性の混合物を生成することがある。
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: 知見なし。
危険有害な分解生成物	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。

**11. 有害性情報****急性毒性**

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

急性毒性(経口)	: LD50(ラット): > 2,000 mg/kg 方法: OECD 試験ガイドライン 420
----------	---

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1	改訂日: 2026/05/13	前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09
------------	--------------------	--

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.27 mg/l  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: OECD 試験ガイドライン 436

**成分:****ベントナイト:**

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg  
方法: OECD 試験ガイドライン 420

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.27 mg/l  
試験環境: 粉じん/ミスト  
方法: OECD 試験ガイドライン 436

**皮膚腐食性/刺激性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**製品:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし  
GLP : 該当

**成分:****ベントナイト:**

種 : ウサギ  
方法 : OECD 試験ガイドライン 404  
結果 : 皮膚刺激なし  
GLP : 該当

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**製品:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし  
方法 : OECD 試験ガイドライン 405  
GLP : 該当

**成分:****ベントナイト:**

種 : ウサギ  
結果 : 眼への刺激なし

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1	改訂日: 2026/05/13	前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09
------------	--------------------	--

方法 : OECD 試験ガイドライン 405  
GLP : 該当

**呼吸器感作性又は皮膚感作性****皮膚感作性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**呼吸器感作性**

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

試験タイプ : Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)  
暴露の主経路 : 経皮  
種 : マウス  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429  
結果 : 皮膚を過敏化させない。

**成分:****ベントナイト:**

試験タイプ : Mouse Local Lymph Node assay (LLNA)  
暴露の主経路 : 経皮  
種 : マウス  
方法 : OECD 試験ガイドライン 429  
結果 : 皮膚を過敏化させない。

アセスメント : No acute effects have been observed.  
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.

**生殖細胞変異原性**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**製品:**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 473

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09

結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 476  
結果: 陰性生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった  
データなし**成分:****ベントナイト:**in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 471  
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 染色体異常試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 473  
結果: 陰性試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験  
方法: OECD 試験ガイドライン 476  
結果: 陰性生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 試験で、突然変異誘発性が示されなかった  
データなし**発がん性**

発がんのおそれ。

**製品:**

発がん性 - アセスメント : データなし

**生殖毒性**

データが不足しているので分類されていない。

**製品:**

生殖毒性 - アセスメント : データなし

**特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**製品:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単回ばく露) としては未分類。

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09**成分:****ベントナイト:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

**特定標的臓器毒性 (反復ばく露)**

入手可能なデータに基づくと分類基準は満たされない。

**製品:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

**成分:****ベントナイト:**

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(反復ばく露)としては未分類。

**反復投与毒性****成分:****ベントナイト:**

備考 : データなし

反復投与毒性 - アセスメント : No acute effects have been observed.  
備考: Bentonite is exempted from REACH registration in accordance with Annex V.7. A hazard assessment has been conducted under the umbrella of the European Bentonite Association (EUBA) and the outcome was that bentonite is not a hazardous substances. Therefore, in absence of identified hazard, the substance is safe and presents no risk.**誤えん有害性**

データが不足しているので分類されていない。

**詳細情報****製品:**

備考 : データなし

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09**12. 環境影響情報****生態毒性****製品:**魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l  
曝露時間: 96 hLC50 (海洋生物): 2,800 - 3,200 mg/l  
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202藻類/水生生物に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l  
曝露時間: 72 h**成分:****ベントナイト:**魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 16,000 mg/l  
曝露時間: 96 hLC50 (海洋生物): 2,800 - 3,200 mg/l  
曝露時間: 24 hミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l  
に対する毒性 曝露時間: 48 h  
方法: OECD 試験ガイドライン 202藻類/水生生物に対する毒性 : EC50: > 100 mg/l  
曝露時間: 72 h**環境毒性アセスメント**

水生環境有害性 短期 (急性) : 本製品には既知の生体毒性は無い。

**残留性・分解性****製品:**

生分解性 : 備考: データなし

**成分:****ベントナイト:**

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

**生体蓄積性****製品:**

生体蓄積性 : 備考: データなし

**土壤中の移動性****製品:**

移動性 : 備考: Bentonite is almost insoluble and thus presents a low mobility in most soils

**オゾン層への有害性**

非該当

**他の有害影響****製品:**

生態系に関する追加情報 : データなし

**成分:****ベントナイト:**

PBT および vPvB の評価結果 : 難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

生態系に関する追加情報 : 知見なし。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。  
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。  
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする  
製品入り容器と同様に処分する。  
空の容器を再使用しない。

**14. 輸送上の注意****国際規制**

陸上輸送 (UNRTDG)

**FULCAT-22 D**

版番号 1.1	改訂日: 2026/05/13	前回改訂日: 2019/09/09 初回作成日: 2019/09/09
------------	--------------------	--

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当

**航空輸送 (IATA-DGR)**

UN/ID 番号 (UN/ID number) : 非該当  
国連輸送名 (Proper shipping name) : 非該当  
国連分類 (Class) : 非該当  
副次危険性 (Subsidiary risk) : 非該当  
容器等級 (Packing group) : 非該当  
ラベル (Labels) : 非該当  
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 非該当  
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 非該当

**海上輸送 (IMDG-Code)**

国連番号 : 非該当  
国連輸送名 : 非該当  
国連分類 : 非該当  
副次危険性 : 非該当  
容器等級 : 非該当  
ラベル : 非該当  
EmS コード : 非該当  
海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当

**MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)**  
供給された状態の製品には非該当。

**国内規制**

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

**特別の安全対策**

非該当

**15. 適用法令****関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09**化審法**

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

**労働安全衛生法****製造等が禁止される有害物**

非該当

**製造の許可を受けるべき有害物**

非該当

**健康障害防止指針公表物質**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）**

非該当

**変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）**

非該当

**名称等を通知すべき危険物及び有害物**

法第 57 条の 2（則 34 条の 2 別表 2）

化学名	備考
結晶質シリカ	-

**名称等を表示すべき危険物及び有害物**

法第 57 条（則 30 条 別表 2）

化学名	備考
結晶質シリカ	-

**皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）**

非該当

**がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）**

化学名
結晶質シリカ（石英）

**特定化学物質障害予防規則**

非該当

**鉛中毒予防規則**

非該当

**四アルキル鉛中毒予防規則**

非該当

**有機溶剤中毒予防規則**

非該当

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09**労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)**

非該当

**毒物及び劇物取締法**

非該当

**化学物質排出把握管理促進法**

非該当

**火薬類取締法**

非該当

**船舶安全法**

危険物として規制されていない

**航空法**

危険物として規制されていない

**高圧ガス保安法**

非該当

**海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律**

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

**廃棄物の処理及び清掃に関する法律**

産業廃棄物

**16. その他の情報**

日付フォーマット : 年/月/日

**その他の略語の全文**

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)

日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均

日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成

**FULCAT-22 D**版番号  
1.1改訂日:  
2026/05/13前回改訂日: 2019/09/09  
初回作成日: 2019/09/09

長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KEGI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量(半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; MERCOSUR - 危険物輸送円滑化協定; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録(REACH)に関する規則(EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」といいます。)に記載されている情報は、データシートの作成日現在において当社が保有している知見に基づき作成されたものです。SDSは対象製品の安全な取扱い、使用、加工、保管、輸送、漏洩時および廃棄に関する指針(ガイダンス)としてのご使用のみを意図して発行されるものであり、対象製品について明示、黙示を問わず何らかの保証を行うものでも、また品質規格を定めるものでもありません。また、SDSに記載された情報は、指定された特定の製品の単独利用の場合におけるものであり、SDSに明示的に記載された場合を除き、指定外の物質との併用や指定外の工程での利用において、対象製品がSDSに記載された情報と合致することを何ら保証するものでもありません。

JP / JA